

0歳から18歳までの一貫教育のまち
『おおつち一貫教育推進』かわら版
大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。



令和5年7月26日(水) No.13
文責
教育委員会学務課 吉田

・大槌町コミュニティ・スクール委員会兼みんなのCS学習会開催

7月6日(木)に大槌町のCSの立ち上げ前からご指導いただいている嘉悦大学副学長の木幡敬史先生をお迎えし、CS関係者35名が参加して、大槌町コミュニティ・スクール委員会兼みんなのCS学習会が開催されました。

各学園の学校運営協議会の報告をいただいた後、木幡先生より「なぜ地域が学校に関わるのか」「つながりを生み出す情報のネットワーク」「学校・家庭・地域を考えるCS」について三鷹市の例も紹介していただきながら学ぶことができました。

最後に「これからの大槌CSのミッション」として、令和版の「ふるさと科」の創造、2つの学園があるメリットを生かすこと、地域行事への参加も学園の「授業」とする等のご示唆をいただきました。

まさに各学園で取り組んでいることを、後押ししてくださるご講義でした。



大槌の先生方は、「ふるさと科」を毎年リニューアルしているね。
2つの学園は、それぞれの強みを生かしているね。



・すべての大槌町の子供達のための『ふるさと科』

すべての大槌町の子供達のために、「誰一人取り残さない学びの保障」を掲げる『けやき共育』の「少人数『ふるさと科』」の授業が、7月18日(火)金澤の佐々木義男さんを講師に行われました。

この事業は、町の教育相談チームがすべての子供達に、町の財産である『ふるさと科』の授業を体験して欲しいという強い願いから実現したものです。

当日は、大槌学園の6名の生徒が参加しました。

タブレットを活用して、牛の様子を撮影したり、ブラッシングしたり積極的に参加していました。

今年度は、11月に2回目を計画しています。



よしおさんへ

先日は、ありがとうございました。

最初行く時は、不安の方が勝っていたけど、行ってみたら不安がなく、楽しく牛ともふれあってよかったです。ふれあった後のよしおさんの話を聞いていたら、少し感動したのかわからないけれど、ちょっと泣きそうになりました。バスで帰っている時、少し気持ちが軽くなった気がします。行ってよかったです。改めてありがとうございました。

